

ふじさと想い大集合!

8月10日、11日の2日間、藤里町商店街メインストリート、藤里町総合開発センターグラウンドにおいて、藤里町町制施行50周年記念事業町フェス「ふじさと50祭」が開催され、町内外から大勢の家族連れが訪れ、町の節目を祝いました。

本イベントは、平成25年11月1日、藤里町が町制施行50周年を迎えるのを記念し開催されたもので、伝統ある「第37回歩行者天国ふるさとまつり（町商工会主催）」と共催し、「共に創り、共に祝い、共に感動！この先50年たっても記憶に残る」をコンセプトとして行われました。



ふじさと50祭宣言

オープニングは、役場前ステージを会場として行われ、佐藤貴徳実行委員長による「ふじさと50祭宣言」の後、くす玉開披、素波里猪による町民歌をアレンジしたよさこいが披露されました。



猪による町民歌Verよさこい

「食」部門では、地元グルメのほか、県内外から参加したご当地グルメが出演。秋田に出演するのは初めてという団体もあり、来場者は、普段なかなか味わうことができないグルメを堪能していました。



十和田バラ焼き

また、地元婦人会による郷土料理のお振る舞い、藤里夏の陣「肉武将グルメ合戦」長年のモーマーごに決着か」と銘打った白神和牛とホゲツトの対決にあつて、長蛇の列ができていました。



行列ができました

「踊り」部門では、「50周年鼓動の環」と題し、県内各地から集まった団体が郷土芸能を披露しました。

出演団体は、地元団体を含め12団体。夏の暑い陽射しのなか、いとく前、JA駐車場を舞台に熱い演舞・演奏を披露しました。



男鹿っ鼓の演舞

いとくステージで披露したよさこい総踊りでは、各団体の演者たちが集まり、よさこいを披露。また、旗を一斉に振りあうという圧巻のパフォーマンスを見せ、観客からは大きな拍手が送られました。



各団体の共演

「歌」部門は、宝昌寺前を会場に、つばさwith Special Bandによる、一日目夜の「ストリートJAZZ」、二日目朝の「ビタミンJAZZ」が行われ、いつものお寺が様変わり。観客は、JAZZに聴き入っていました。



ビタミンJAZZ